

ボッチャ競技会実施要項

1. 競技規則

適用する競技規則は、開催年の国際ボッチャ競技連盟制定の競技規則並びに本大会申し合わせ事項に基づいて行う。

2. 招集

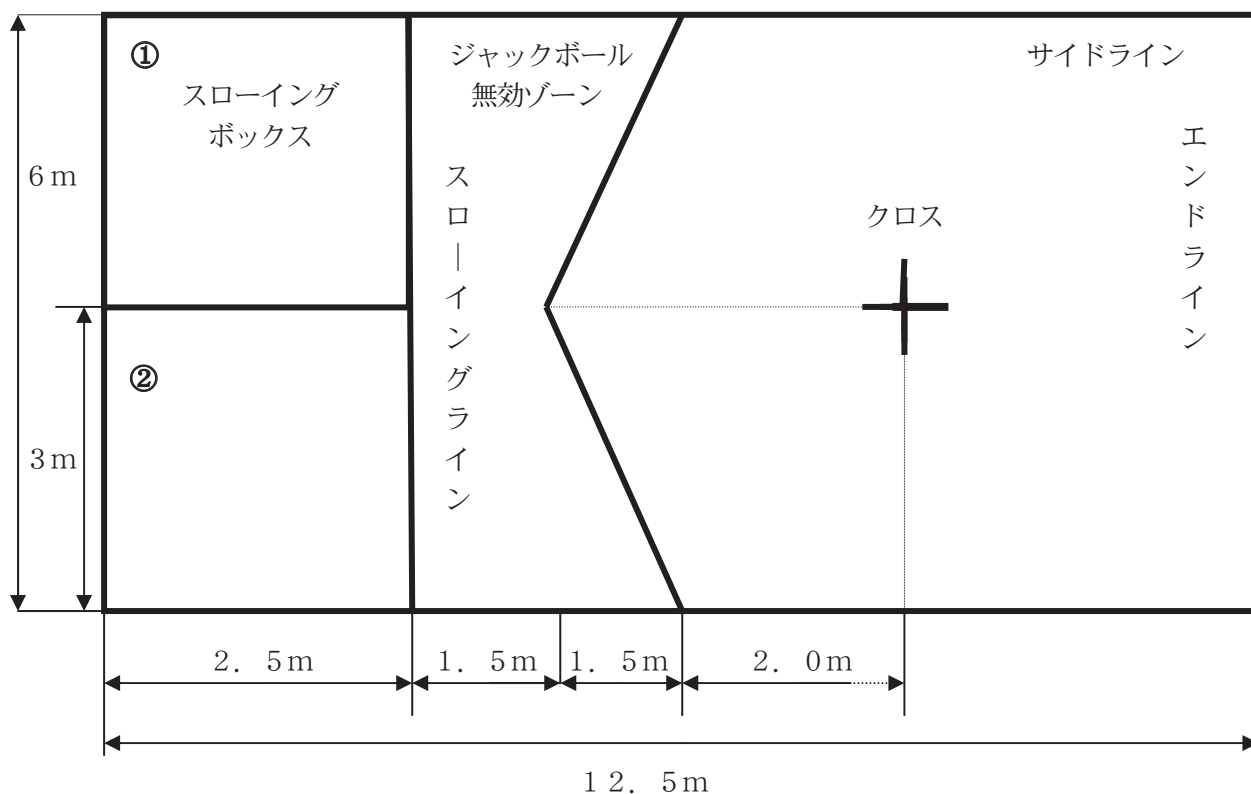
- (1) 招集は、競技場内で行い、競技進行により放送で招集するので競技役員の指示に従う。
- (2) 招集完了時間は、競技進行により放送で招集されてから10分後とする。
- (3) 遅れた場合は、相手チームが不戦勝となる。

3. チーム編成

1チームの編成は、プレーヤー2名以上6名以内とする。

4. コート

競技は、12.5m×6mのコートで行われます。選手は2.5m×3mスローイングボックス内でプレーをします。



5. 用具

- (1) ボールは皮革製で周長直径 270 ± 8 mm、重さは 275 ± 12 g。
- (2) ジャックボール1球と赤・青のカラーボールそれぞれ6球の13球使用します。

6. 競技方法

- (1) 赤・青チームをじゃんけんかコイントスなどで決める。
- (2) チームごとに赤又は、青のスローイングボックスに入って投球する。投球時にラインを踏んではならない。
- (3) 先行 (赤チーム)・1番目の人がジャックボールを投げ、次に赤ボールをジャックボールに近づけるように1球投げる。
- (4) 後攻 (青チーム)・1番目の人がジャックボールに近づけるように1球投げる。
- (5) 以後、ジャックボールに遠いチームが審判の指示板に従って順番に投球する。

※自チームの指示板が出ている時は、チーム内でどこに投げるか相談するなどコミュニケーションをとったり、コート内を見に行っても構わない。

※投球時に自チームのスローイングボックス内であれば自由に動いてどこから投げてもよい。

※投球したボールが外に出た場合は、アウトボール（エンドが終了するまでコートの外に置く）となる。

※ジャックボールが当てられて外に出た場合はクロスに戻される。

(6) 遠いチームのボールがなくなったら、ジャックボールに近いチームのボールがなくなるまで投げる。

(7) 赤・青両チームのすべてのボールを投球し終わったら得点を数え、1 エンドが終了となる。

※得点は、ジャックボールに一番チームが勝ちとなる。負けたチームのジャックボールに一番近いボールまでの距離を半径として円を描いて、その中の何個勝ったチームボールが入っているかを数えて得点とする。赤・青共に同じ距離にあればそのボールの数を両チームの得点とする。

(8) 次の2エンド目は、青チームの1番目の人がジャックボールを投げることになる。

(9) 得点合計が、同数の場合はタイブレイクを行う。再度先行後攻を決め、ジャックボールをクロスに置いて1エンド戦う。その結果ジャックボールにより近いチームを勝ちとする。

7. その他

対戦の組み合わせについては、参加申込者の障がい区分等を考慮して決定する。

競技に関する不明な点は、競技本部に問い合わせること。